成長するコミュニティ

- 僕が目指している理想的なコミュニティとは
  - コミュニティは２つのパターンがある
    - 交流する為のコミュニティ
      - BAR
      - ゲーム会など同じ趣味の集まり
      - など
    - 成長し自らの理想を実現するためのコミュニティ
      - 実践型のコミュニティ
      - ビジネス交流会
      - など
  - コミュニティとリーダー
    - コミュニティとは
      - ビジョンやコンセプトに共感した『同志の集まり』
        - 同じ志を持った人が集まる
        - 『同じ理想世界に向かって歩く』仲間たち ※チャレンジしている仲間たち
    - リーダーの役割
      - 理想世界を見せ続けることの出来る人
      - もっとも理想世界に近い人ではなく、理想世界に最もパッションがあって、理想世界に向かってあるき続けている、努力している人のこと
      - 「見せる」とは、言葉で説明するだけでなく、自ら体現出来ている必要があり、自分が率先してその理想世界に向かってあるき続けている必要がある
  - なぜ理想世界に向かって歩くのか？
    - 人は、常に「より良い人生」を求めている
      - ここで言う『良さ』とは苦が減り、快が増えること
      - それを達成するためには本人が『変化』しなければならない
    - ベネフィットというのは表面的な悩みや苦痛にフォーカスしている
      - それは分かりやすく重要であるが、より本質的に彼らが求めているのは
      - 短期的にベネフィットを実現しつつ、成長を繰り返す場である必要がある ※長期的なベネフィットだけでは挫折、コミュニティから離れてしまう
    - 本当にもとめているのは「自分自身の変化であり、二度と同じ悩みを保つ必要がなくなることであり、未来をより安心して生きていける自分になること」つまり成長しレベルアップし自己実現を達成し続ける人生
  - 成長＆変化をリーダー＆メンバーが自ら実感できることが大切
    - 能力強化　自己成長
    - 自らを取り巻く世界観の変化　ライフスタイルの変化
    - 自己実現（目的の達成）は出来るんだ！という体験を繰り返す
    - 頑張るとチャレンジは違う
      - 頑張るとは必死で何かしている
      - チャレンジは目標があり、定期的に振り返る
      - チャレンジに適しているコミュニティの紹介
  - リーダーの仕事
    - リーダーの仕事は3つに分かれる
      - 1. 理想世界を見せ続けること
        - 信じさせてあげる
        - 外の誘惑に負けない
      - 2. 理想世界に向かってあるき続けている
        - 行動で示してくれている
        - 理屈だけを語る人にはついていけなくなる
      - 3. メンバーに更なる歩く力をつけ、共にあるき続けられるようにすること　いろんな理由があって、歩く速度が遅い、それを一つ一つ見つけて解決してあげること
      - この状態をリーダーは目指す必要がある、より高いレベルで満たすことが出来るように努力する
    - その他のメンバーは、何らかの不安であったり、能力不足であったり、様々な障害によって歩く速度が少し遅いことが多い
    - リーダーの2タイプ
      - 1.「背中で引っ張る」タイプ　少し先を歩いている
      - 2.「肩を組んで一緒に歩く」タイプ　コミュニティのど真ん中にいる
      - １は男性性が強いコミュニティ、２は女性性が強いコミュニティ
        - 一般論としては女性性が前面に出ているコミュニティのほうが大きくなりやすい
        - ビジネスと言うことで考えると　男性性が前面に出ている方が単価が大きくなりやすい
  - リーダが頑張るのはもちろんだが、もう一つ重要なのは一人ひとりが主体的に動くことを歓迎する場であること
    - 知識を得る事→違う世界があると知る事
    - 勇気
      - チャレンジ
      - 振り返り、受け入れる
    - 自分を過小評価しない事
    - メンバーが主体的に動く為には
      - コミュニティの内容も大事だが、メンバーが主体的に動くには主体的に行動する事を歓迎するムードが大切
      - 動いたメンバーを応援する→声を掛ける！ ※冷ややかな目をしない 動けない人は動いている人を嫉妬や批判しがち
  - メンバーは何をすれば良い？
    - メンバーが主体的に動きたくなる仕組みを作ろう！
    - 目的を決める
      - コミュニティに参加した、また、コミュニティを活用して
        - 参加前の状態 ※お困りごと、求めている事
        - 参加後に徐々に解決していく
    - 短期目標を立てて行動＆フェードバックを繰り返して目的を達成していく
    - 目標達成シートを活用
      - 目標達成シートを活用しよう
      - コミュニティメンバーの２～４名で定期的にグループでフィードバック会を開催
  - 重要な事は
    - コミュニティは全メンバーに対して2つの感覚を与えるものでなければならない
      - 「やっても大丈夫！」　はじめはこっちで感覚で動き出す必要がある
      - 「やれば出来る！」　動き出してからはこっちの感覚が大事
    - 最初はリーダーが与える必要があるが、一旦コミュニティが出来るとメンバーがこの２つを与えてくれるようになる
      - メンバーを引き上げる
- コミュニティのコンセプトや約束事を明確に決めておく
- 図解マーケティング
- 新しい収入の柱とスキルを身につけ、ブランド力を高める図解マーケティングリーダーコース